令和３年度　第１回徳島労働局公共調達監視委員会審議概要

開催日時	令和３年１０月６日（水）　９：５５ ～ １１：５７	
会場	徳島労働局　４階会議室	
委員（敬称略）	委員長　　松村　豊大	大学教授
	委　員　　岩佐　誠志	税理士
	委　員　　島内　保彦	弁護士
事務局	徳島労働局総務課	
審議対象期間	令和３年１月１日～令和３年６月３０日契約締結分	
意見の具申又は勧告	なし	

議事

１　委員の互選により松村豊大委員を委員長として選任した。

２　対象期間中の対象契約件数は３９件で、全数審議した。

３　審議案件に対する委員からの質疑等及び事務局回答は以下のとおり。

公共工事（競争入札）審議件数０件	
公共工事（随意契約）審議件数０件	
物品・役務等（競争入札）審議件数２７件	
・令和３年度複合機等保守契約（リコー製）（令和３年４月１日契約分）及び令和３年度複合機等保守契約（コニカミノルタ製）（令和３年４月１日契約分）	
質疑等	回答
リコーとコニカミノルタに分けて保守契約しているのは何故か。	メーカーの代理店をしている落札業者が保守業務も行うこととなるため、分けて契約している。
・エレベーター設備保守点検委託契約（令和３年４月１日契約分）	
質疑等	回答
１）予定価格と入札額が大きく違うのは何故か。 ２）予定価格は下がっていくのではないのか。また、価格の設定は適正なのか。	１）落札業者は平成 30 年度から当局において参入しているが、低価格であることについては、全国的にも同様の状況が見受けられる。仕様書に基づいた運用ができているか確認しており、特に問題はない。 ２）実績では下がるが、現行の予定価格の立て方では下げることが難しい。本省とも相談しているが、今のところ「やむを得ない状況」となっている。

・令和３年ガソリン等の購入契約（令和３年４月１日契約分）	
質疑等	回答
落札者の他に業者はいないのか。	例年指摘を受けているが、仕様書にある「各官署から 30 分以内の距離」という条件を満たす業者が他にいない。
・一般競争入札（総合評価落札方式）について	
質疑等	回答
総合評価落札方式について、競合すれば価格で決まり、逆転は起きなくなっている。技能や性能に問題なければよしとするのだろうが、価格を叩けば勝てるということなら、総合評価落札方式の価値がなくなる危険性があるのではないか。地方自治体では、PFI 方式のように技術審査に圧倒的に力点を置く契約もある。結局価格点重視になるということを見直すべきではないか。	貴重なご意見であり、今後の業務の参考とさせていただく。
物品・役務等（随意契約）審議件数１２件	
・障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定事業）委託契約（令和３年４月１日契約分）３件	
質疑等	回答
これらの３法人は、この事業をするためだけに設立されているのか。	３法人ともに他に介護施設等の福祉関係事業をしている。この事業の委託費が重要な収益であることは間違いなく、この委託費が支払われることにより、利用者である障害者の支援を充分に行えていると考える。
・令和３年度雇用調整助成金の申請書類等の保管に係る事務所賃貸借契約（令和３年４月１日）	
質疑等	回答
借りた事務所に事務担当者がおらず、書類保管のみであれば、倉庫として借りるべきである。事務所と倉庫は	この事務所は現状では一時的に書類保管場所となっているが、あくまでも雇用調整助成金等事務処理のため

違う。金額の精査が必要ではないか。	の事務所として使用する目的で借りている。